

成績評価制度等について

1. 成績評価

成績の評価は科目担当教員が、試験の成績及び平常の出席状況等を総合して行う。各科目担当教員の評価方法については「授業計画(シラバス)」を参照すること。

<グレードポイントアベレージ(GPA)制度>

試験の成績評価の表記、評点、基準及びグレードポイント (GP) は、本学学則第 30 条第 4 項の規定に基づき、次のとおりとする。

成績表記	評点	評点基準	GP
S (秀)	90点以上	特に優秀な成績	4
A (優)	80～89点	すぐれた成績	3
B (良)	70～79点	要求を満たす成績	2
C (可)	60～69点	合格と認められる最低の成績	1
D (不合格)	59点以下	不合格	0
		実習、実験、演習のうち、特定の科目で不合格と認められる成績	
P (合格)		実習、実験、演習のうち、特定の科目で合格と認められる成績	2
N (認定)		単位認定	算定対象外
K (欠席)		試験に欠席	0
X (受験資格なし)		出席日数不足により受験資格がない場合	0
F (不正行為)		試験において不正行為を行った場合	0

成績評価の GP を次の計算式により算出した値を学業成績の指標とする。

$$\text{GPA} = \frac{4.0 \times S \text{ の修得単位数} + 3.0 \times A \text{ の修得単位数} + 2.0 \times (B+P) \text{ の修得単位数} + 1.0 \times C \text{ の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数}}$$

GPA 制度は、学生の皆さんが主体的な学修を促進するための指標として活用することを主要な目的として導入するものである。なお、GPA 算出の対象科目は卒業要件科目のみとする。

<成績発表>

成績発表は、成績報告書の交付によって行う。交付の時期等については別途掲示する。

<成績評価に関する問い合わせ制度>

成績発表後、直前の学期の成績評価に問い合わせがある場合は、次の期間内に「成績評価質問票」を大学事務局に提出する。

成績に関する質問受付期間：成績発表日を含む 5 日間（日曜・祝日を除く）

<保証人への成績通知書の送付について>

本学では、10 月と 5 月に成績通知書を保証人宛に送付する。これは、保証人が学費負担者であることを考慮し、学生の大学での学修状況を知らせることを目的としている。このことについて、不都合がある場合には、大学事務局まで問い合わせること。

2. 卒業要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し、次の各号の定めるところにより必要な単位数を修得しなければならない。

(1) 現代生活学部及び人間栄養学部の各学科の卒業必要単位数は、別表Ⅱ

(2) 現代生活学部及び人間栄養学部の共通教育科目の履修条件は、別表Ⅱの1

なお、学則第54条に定める外国人留学生以外の日本語を第一言語としない学生で、本学の教育に対応する上で「日本語・日本事情」領域科目の受講が特に必要と認められる場合は、共通教育部会の議を経て履修を認めることがある。

別表Ⅱ

卒業必要単位数

(数字は単位数を表す)

学部・学科		現代生活学部				人間栄養学部
		現代家政学科	生活デザイン学科	食物学科	児童学科	人間栄養学科
専門科目	必修	10	10	62	18	98
	選択	54	54	33	56	12
小計		64	64	95	74	110
共通教育科目	必修	1 (7)	1 (7)	1 (7)	1 (7)	1 (7)
	選択	29 (23)	29 (23)	19 (13)	19 (13)	19 (13)
小計		30	30	20	20	20
上記2科目区分の中から自由に選択する単位数【注】		30	30	9	30	0
卒業必要最低単位数合計		124	124	124	124	130

() 学則第54条に定める外国人留学生(編入学、学士入学を除く)の単位数

【注】他学部他学科の専門科目で修得した単位数を含む。

別表Ⅱの1

共通教育科目の履修条件

(数字は単位数を表す)

学部・学科		現代生活学部				人間栄養学部
		現代家政学科	生活デザイン学科	食物学科	児童学科	人間栄養学科
アカデミックスキル領域		1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)
教養科目群 (領域)	文化と表現	2	2	2	2	2
	数理と情報	2	2	2	2	2
	からだと健康	2	2	2	2	2
	自然と環境	2	2	2	2	2
	社会と生活	2	2	2	2	2
	生き方の問題	2	2	2	2	2
	外国語	4	4	4	4	4
	総合演習	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)
日本語・日本事情	(注4)	(注4)	(注4)	(注4)	(注4)	
キャリアデザイン領域		(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)
共通教育科目の全領域の中から自由に選択する単位数		13	13	3	3	3

(注1) 表中の単位数は、共通教育科目の各領域から修得しなければならない最低単位数を示す。

その単位数は、別表Ⅱの共通教育科目の選択の単位数に含まれる。

(注2) 表中の単位数と共に授業科目名が表示されているものは、必修単位数及び授業科目を示す。

その単位数は、別表Ⅱの共通教育科目の必修の単位数に含まれる。

(注3) 表中の「総合演習」領域の単位数は、共通教育科目の全領域の中から自由に選択する単位数に含まれる。

(注4) 学則第54条に定める外国人留学生が履修し修得した共通教育科目「日本語・日本事情」領域の単位は、共通教育科目「外国語」領域の修得単位とみなす。ただし、「日本の歴史と文化」については共通教育科目「文化と表現」領域の修得単位とみなす。

(注5) 表中のキャリアデザイン領域の単位数は、共通教育科目の全領域の中から自由に選択する単位数に含まれる。